

平成 26 年度（平成 25 年度実績事業）

下田市教育委員会自己点検・評価報告書

平成 27 年 1 月
下田市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会点検・評価の概要	
1 点検・評価の趣旨	2 ~ 3
2 教育委員会会議の開催状況	4
3 教育委員会会議での審議状況	4 ~ 6
4 教育委員会会議以外の活動状況	7
5 施策ごとの取組状況	8 ~ 9
点検・評価シート	10 ~ 41
6 有識者委員会	42
7 有識者委員会の意見	42 ~ 44
8 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱	45 ~ 46

はじめに

平成 20 年 4 月に施行された改正「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、下田市教育委員会では、平成 20 年度の教育委員会の活動や教育施策から、自己点検・評価及び有識者による外部評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに、市民に公表してまいりました。

今年度も同様に平成 25 年度事業について市議会の決算認定をいただいた後に、前回の反省及び指摘事項を含め自己点検・評価を行い、有識者による外部評価をいただきました。

この下田市教育委員会の自己点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業について一年間の活動状況の課題や取組の方向性を、自ら点検及び評価を行い、有識者による外部の知見を入れることで、今後の効果的な教育行政の一層の推進を図るものです。

この結果を新たな第 4 次下田市総合計画に定められた基本目標に基づく今後の施策に十分に活かし、「人が輝くまちづくり」を担う就学前教育・学校教育及び生涯学習における教育学習環境を更に充実し、活力有る教育行政を推進することで下田市が目指すまちづくりの一役に努めてまいります。

下田市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

下田市教育委員会教育委員名簿

（平成 25 年度 在籍委員）

職名	氏名	任期
委員長（～H25.12.13）	外岡 澄子	H21.12.14～H25.12.13
委員長（H25.12.16～）	田中 とし子	H25.3.15～H29.3.14
委員長職務代理者	渡邊 亮治	H22.12.13～H26.12.12
委員	土屋 康宣	H24.12.15～H28.12.14
委員	天野 美香	H25.12.14～H29.12.13
教育長	野田 光男	H23.7.21～H27.7.20

教育委員会点検・評価の概要

1 点検・評価の趣旨

(1) 点検・評価の目的

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、毎年事務の管理及び執行状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図り、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、市民に公表しています。

この自己点検・評価は、教育委員会の責任体制の明確化と教育行政の説明責任を果たすことを目的としています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価にあたっては、平成25年度に実施した事務事業について、「第4次下田市総合計画」における基本構想「自ら学ぶ人づくり」・「未来の人づくり」・「人にやさしいまちづくり」の3施策に分類しました。

第4次下田市総合計画 施策の大綱

人が輝くまちづくり

(1) 自ら学ぶ人づくり

先人が築いた開国を始めとする歴史や文化、地域の伝統や祭りを市民共通の財産として継承し、市民が生涯にわたって自ら学習する機会やスポーツを楽しむ環境を提供し、豊かな心や生きがいを育むとともに多彩で質の高い芸術文化にふれる機会の拡充に努めます。

(2) 未来の人づくり

次世代を担う子どもたちには、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身につけることが求められています。そのため、保育所・幼稚園や小学校、中学校が連携を強化し、「生きる力」を育む教育を進めるとともに幼稚園と保育所が一体となった就学前教育を推進します。そして郷土の豊かな自然や歴史を学ぶ機会を充実し、郷土に愛着と誇りを持ち、将来を担うことのできる人材を育成します。

また、学校や家庭、地域が一体となり、学校教育や地域活動の充実を図り、地域に開かれた学校づくりを目指すとともに子どもたちが安全で安心して学べる教育環境の整備に努めます。

安心なまちづくり

(1) 人にやさしいまちづくり

すべての市民が住み慣れた地域や家庭で安心して生活できるよう、互いに支えあい「ともに生きる」ことができる、人にやさしいまちづくりを推進します。

また、家庭や地域、市民活動団体などが連携して子育てを支援し、安心して子どもを生んで育てることのできる環境づくりを推進します。

さらに、コミュニティに立脚した地域福祉の再生に努めるとともに、支援を必要とする人の視点に立った福祉サービスの充実を図ります。

(3) 点検・評価の方法

今年度の点検・評価については、施策、事業の執行状況を明らかにするとともに、課題等を分析検討した上で、今後の対応方向を記述しました。

事業は、点検評価シートに基づき点検評価を行い、教育委員の評価としてA「十分成果が上がって良好に行われている。」、B「成果が上がって概ね良好に行われている。」、C「成果が十分に上がっておらず改善が必要。」のいずれかの評価とその評価に基づくコメントを記載しました。

また、点検評価の客観性の確保のため、教育に関し学識経験を有する方等外部の意見をお聞きするため、外部評価委員会を開催しました。

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会では、毎月20日以降を目処に月1回の定例会を開催する計画を立て、必要に応じて臨時会を開催しています。

平成25年度は12回の会議を開催しました。

定例会	臨時会	合計
12回	0回	12回

3 教育委員会会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「下田市教育委員会会議規則」に基づき、平成25年度は48件の議案を審議しました。

区分	番号	議題名
4月定例会 4月24日(水)	報第2号	専決処分の承認を求めることについて (教育委員会事務局職員の処分について)
	報第3号	専決処分の承認を求めることについて(社会教育指導員の任命について)
	報第4号	専決処分の承認を求めることについて (下田市図書館協議会委員の任命について)
	報第5号	専決処分の承認を求めることについて (下田市青少年補導センター補導員の委嘱について)
	報第6号	専決処分の承認を求めることについて (教育委員会事務局職員の処分について)
	議第14号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
5月定例会 5月23日(水)	報第7号	専決処分の承認を求めることについて(教職員の処分について)
	議第15号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市子ども・子育て会議条例の制定について)
	議第16号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (平成25年度下田市一般会計補正予算第3号)
6月定例会 6月27日(木)	報第8号	専決処分の承認を求めることについて (下田市文化財保護審議会委員の任命について)
	議第17号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
7月定例会 7月24日(水)	議第18号	教職員の処分について
	議第19号	下田市公民館長の任命について
8月定例会 8月28日(水)	議第20号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市立認定こども園条例の制定について)
	議第21号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について)
	議第22号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について)
	議第23号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について

	議第 24 号	(平成 25 年度下田市一般会計補正予算第 4 号) 下田市学校給食あり方検討委員会設置要綱の制定について
9 月定例会 9 月 25 日 (水)	報第 9 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市立幼稚園管理規則の一部改正について)
10 月定例会 10 月 25 日 (金)	議第 25 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
11 月定例会 11 月 25 日 (月)	報第 10 号 議第 26 号 議第 27 号 議第 28 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (小学校教育用パソコン購入契約の締結について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市外ヶ岡交流拠点施設条例等の一部を改正する条例の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (平成 25 年度下田市一般会計補正予算第 5 号)
12 月定例会 12 月 16 日 (月)	議第 29 号 議第 30 号 議第 31 号	下田市教育委員会委員長の選任について 平成 25 年度末下田市小・中学校人事異動方針について 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
1 月定例会 1 月 24 日 (金)	報第 1 号 議第 1 号 議第 2 号 議第 3 号 議第 4 号 議第 5 号 議第 6 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市特別支援教育就学奨励費交付要綱の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (認定こども園建設用地造成工事請負契約の締結についての一部変更について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (認定こども園建設工事(建築)請負契約の締結についての一部変更について) 下田市立認定こども園通園バス運行規則の制定について 下田市民文化会館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 下田市教育委員会後援名義使用承認に関する取扱い要綱の制定について 下田市立幼稚園預かり保育実施要綱の制定について
2 月定例会 2 月 25 日 (火)	議第 7 号 議第 8 号 議第 9 号 議第 10 号 議第 11 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (外ヶ岡交流拠点施設条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について) 下田市立吉佐美運動公園の設置及び管理に関する条例施行規則及び下田市民スポ・ツセンタ・条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 下田市教育委員会事務局職員等の職名規則の一部を改正する規則の制定について 下田市教育資金利子補給金交付要綱の制定について 下田市幼稚園給食費徴収要綱の制定について

	議第 12 号	下田市保育所職員等給食費徴収要綱の制定について
	議第 13 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (平成 25 年度下田市一般会計補正予算第 7 号)
	議第 14 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (平成 26 年度下田市一般会計予算)
	議第 15 号	静岡県費負担教職員人事の内申について
3 月定例会 3 月 27 日(木)	議第 16 号	下田市教育委員会事務局職員の人事異動について
	議第 17 号	教育委員指導員の任命について
	議第 18 号	下田市立公民館設置管理条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	議第 19 号	下田市教育行政の基本指針について
	議第 20 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について

基本方針	1 件
議案の 原案の決定	1 4 件
規則及 び規程の制定又は改廃	1 3 件
人事	1 0 件
準要保 護児童生徒の認定	5 件
その他	5 件
合 計	4 8 件

4 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員は教育委員会会議への出席以外に研修や学校等の訪問、意見交換会などに参加しました。

(1) 教育委員の研修状況

実施日	内容	場所	出席者
4月9日(火)	県市町教育会委員長・教育長会	静岡市	教育委員長 教育長
7月2日(火)	第1回静岡教育事務所管内市町教育委員長・教育長 連絡協議会	沼津市	教育委員長 教育長
10月15日(火)	第2回静岡教育事務所管内市町教育委員長・教育長 連絡協議会	沼津市	教育委員長 教育長
11月11日(月)	第54回静岡県市町教育委員研修会	浜松市	教育委員長 教育委員3名
1月27日(月)	新任教育委員研修会	静岡市	新任教育委員

(2) 教育委員の学校訪問等

実施日	場所	内容
10月21日(月)	下田中学校	校長懇談、授業参観
	浜崎小学校	校長懇談、授業参観、給食会食
	下田東中学校	校長懇談、授業参観
10月25日(金)	稲生沢中学校	校長懇談、授業参観
	下田小学校	校長懇談、授業参観、給食会食
	稲梓小学校	校長懇談、授業参観
10月28日(金)	白浜小学校	校長懇談、授業参観
	稲生沢小学校	校長懇談、授業参観、給食会食
10月29日(火)	稲梓中学校	校長懇談、授業参観
	朝日小学校	校長懇談、授業参観、給食会食
	大賀茂小学校	校長懇談、授業参観

(3) 意見交換会の実施

子どもの学習環境に関する意見交換会を実施しました。

実施日	対象	場所
6月3日(月)	稲梓小学校・中学校PTA役員	稲梓小学校
2月17日(月)	稲梓の教育と文化をすすめる会	稲梓中学校

(4) 教育委員会点検評価有識者委員会

実施日	場所
2月21日(金)	下田市民文化会館

5. 施策ごとの取組状況

平成25年度に実施した事務事業について、平成23年3月に策定した「第4次下田市総合計画」における基本構想の「自ら学ぶ人づくり」、「未来の人づくり」、「人にやさしいまちづくり」の3施策に分類しました。

教育委員会では、それぞれの基本目標を実現させるための施策の項目に対応する事業について点検・評価シートを作成し内部で点検・評価を行い、その後外部評価をいただき、意見をまとめました。

人が輝くまちづくり

(1) 自ら学ぶ人づくり

生涯学習

基本目標 いつでもだれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
学習施設の再編・整備	公民館管理運営事業	生涯学習課	15,377
学習活動の推進	成人活動推進事業	生涯学習課	259
	公民館活動推進事業	生涯学習課	1,548
	図書館管理運営事業	生涯学習課	19,266
	図書館OA化推進事業	生涯学習課	4,944
郷土資料の保存と継承	吉田松陰寓居処改修事業	生涯学習課	11,483
	市史編さん事業	生涯学習課	3,841

文化・芸術

基本目標 歴史的・文化資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
文化施設の整備	市民文化会館管理運営事業	生涯学習課	66,840
文化・芸術活動の活性化 文化財などの保存、継承	芸術文化振興事業	生涯学習課	2,763

スポーツ

基本目標 市民がいつでも気軽にスポーツを楽しむことができるまちを目指します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
施設の有効活用	保健体育総務事務	生涯学習課	2,096
	吉佐美運動公園管理運営事業	生涯学習課	973
	下田市民スポーツセンター管理運営事業	生涯学習課	18,140
スポーツの振興	社会体育活動推進事業	生涯学習課	1,910

人が輝くまちづくり

(1) 未来の人づくり

就学前教育

基本目標 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を目指します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
施設の再編・整備の推進	認定こども園建設事業	学校教育課	877,693
就学前教育の充実	公立保育所管理運営事業	学校教育課	166,868
	民間保育所事業	学校教育課	180,721
	地域保育所事業	学校教育課	63,523
	幼稚園管理事業	学校教育課	99,684

学校教育

基本目標 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
教育施設の整備	小学校管理事業	学校教育課	77,990
	小学校教育振興事業	学校教育課	35,727
	中学校管理事業	学校教育課	44,274
	中学校教育振興事業	学校教育課	13,205
	給食センター建設事業	学校教育課	4,528
総合的な学習の推進	教育委員会事務局総務事務	学校教育課	85,649
いじめ、不登校対策と特別支援教育の推進	児童生徒適応指導事業	学校教育課	1,975
	特別支援教育体制推進事業	学校教育課	17,947

青少年健全育成

基本目標 家庭、地域、学校と関連機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
健全育成の推進	青少年健全育成事業	生涯学習課	432
	青少年海の家管理運営事業	生涯学習課	961
青少年活動の充実	青少年活動推進事業	生涯学習課	152

安心なまちづくり

(1) 人にやさしいまちづくり

子育て支援

基本目標 こどもがいいきい輝き・健やかに育つ子育て支援社会を目指します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
子育て支援ネットワークの充実	子育て支援ネットワーク事業	学校教育課	40
	ファミリーサポートセンター事業	学校教育課	339
	子ども・子育て支援事業	学校教育課	2,676
	放課後児童対策事業	学校教育課	7,982

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1 生涯学習 【学習活動の推進】					
事業名	公民館管理運営事業	事業費	15,377 千円	生涯学習課	
根拠法令等	下田市公民館設置管理条例、下田市公民館設置管理条例施行規則				
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】	
目的	市民の生涯学習の場として公民館の管理運営を行う。				
具体的施策	公民館利用状況				
	公民館名	平成 25 年度		平成 24 年度	
		件数	利用人数	件数	利用人数
	中央公民館	1,631	18,953	1,474	18,417
	本郷公民館	170	2,287	161	2,046
	中公民館	226	4,437	249	4,357
	稲生沢公民館	424	6,549	423	5,573
	須原公民館			35	518
	椎原公民館	19	465	24	608
	北湯ヶ野公民館	41	587	35	449
	朝日公民館	334	4,036	380	4,259
	白浜公民館	204	4,037	235	4,264
	合計	3,049	41,351	3,016	40,491
臨時雇賃金（管理人）1,699 千円 光熱水費 4,757 千円 修繕料 3,895 千円 特殊建築物定期調査業務委託 86 千円 借地料 134 千円					
検証	須原公民館の廃止に伴い、建物の解体工事を 2,865 千円で実施した。 修繕は、北湯ヶ野公民館修繕 1,352 千円他 14 件を実施した。 平成 26 年 3 月末をもって北湯ヶ野公民館と椎原公民館を廃止した。				
今後の課題及び今後の対応	公民館廃止後における各地域のコミュニティを守っていくための公共施設の在り方、配置の検討が必要。 実施計画におけるスケジュールの見直し検討を行う。				

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	公民館の管理運営については概ね良好に執行されている。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1 生涯学習 【学習活動の推進】					
事業名	成人活動推進事業	事業費	259 千円	生涯学習課	
根拠法令等					
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】
目的	市民の生涯学習の場として、趣味、教養、技能を高め、豊かな人生とコミュニティ活動を実現するもの。				
具体的施策	寿大学講座講師謝礼 7 千円 家庭教育学級講師謝礼 4 千円 海洋講座講師謝礼 14 千円 家庭教育学級委託 225 千円				
検証	高齢者を対象とした寿大学（教養・健康・安全・歴史講座）及び寿大学趣味クラブ（舞踊・川柳・カラオケ・郷土芸能）を開設した。 幼稚園、小中学校 P T A に家庭教育学級の実施を委託し、親の役割と青少年の育成等について講演会を開催した。 県、大学の研究機関等の連携により、水産・海洋学講座を実施した。				
今後の課題及び今後の対応	水産・海洋学講座の受講者減少が見られることから新たな講座開設について検討を行う必要がある。				

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	市民の生涯学習の場として多くの市民が参加できるような工夫が更に必要である。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1生涯学習 【学習活動の推進】				
事業名	公民館活動推進事業	事業費	1,548 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市公民館設置管理条例、下田市公民館設置管理条例施行規則			
実施方法	直接 委託 補助 負担金 その他【 】			
目的	公民館の円滑な推進のため各公民館に館長を置くとともに、各公民館において主に地域住民を対象にした公民館講座を開設する。			
具体的施策	講師謝礼 327 千円 公民館長報酬 1,188 千円			
検証	各公民館において 19 講座、321 回を開催した。			
今後の課題及び今後の対応	各公民館講座の固定化が参加者の固定化に繋がっており、新たな講座の開設が課題となっている。公民館館長会議において、新たな講座の開設について要望中である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	市民の学習、コミュニティの場として多くの市民が参加しているが、新たな講座の開設が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1 生涯学習 【学習活動の推進】				
事業名	図書館OA化推進事業	事業費	4,944 千円	生涯学習課
根拠法令等				
実施方法	直接	委託	補助	負担金 其他【 】
目的	図書館サービスの充実を図るもの			
具体的施策	図書館システム保守料（債務） 806 千円 図書マーク作成業務委託 133 千円 図書館システムリース料（債務） 3,486 千円			
検証	図書館システムの活用により、県立図書館との相互貸出、実施蔵書貸出業務、レファレンス業務等を円滑に実施できた。			
今後の課題及び今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に併設予定であり、利用しやすい図書館となるための調査研究が引き続き必要である。 ・学校図書のデータ化による市立図書館と市内小中学校間での相互貸し出しのネットワーク化が課題である。 ・電子図書の調査・検討 			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	図書館システムにより円滑な図書館業務が行われている。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1生涯学習 【学習活動の推進】				
事業名	図書館管理運営事業	事業費	19,266 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市図書館設置管理条例、下田市図書館設置管理条例施行規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 其他【 】
目的	図書館の管理運営			
具体的施策	職員人件費 7,089 千円 臨時雇賃金 6,635 千円 ファーストブック代 252 千円 図書等 2,200 千円			
検証	図書館は 276 日開館し、50,643 冊の図書の貸出しを行った。 図書は 2,200 千円で 1,540 冊を購入した。 ボランティア等によるお話会を 6 回開催した。			
今後の課題及び今後の対応	新庁舎に併設予定であり、利用しやすい図書館となるための調査研究が引き続き必要である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	より多くの市民利用が図られるため、新図書館について調査研究を望む。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1 生涯学習 【郷土資料の保存と継承】				
事業名	吉田松陰寓寄処改修事業	事業費	11,483 千円	生涯学習課
根拠法令等				
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	県指定史跡吉田松陰寓寄処の適切な保存を図るため。			
具体的施策	<p>平成 25・26 年度事業として吉田松陰寓寄処改修工事を実施した。</p> <p>吉田松陰寓寄処改修工事実施設計業務 653 千円</p> <p>吉田松陰寓寄処改修工事監理業務委託（債務負担 25 年度分） 300 千円</p> <p>吉田松陰寓寄処改修工事（債務負担 25 年度分） 10,530 千円</p>			
検証	<p>平成 25 年度においては、実施設計、改修工事（仮設工事・解体工事・屋根工事等）を実施した。事業にかかる実施設計、工事監理については、文化財建造物の設計、監理に実績と経験のある団体に委託した。</p> <p>吉田松陰寓寄処改修事業は、静岡県文化財保存費補助金を得て実施した。</p>			
今後の課題及び今後の対応	市民に対する周知吉田松陰に関する歴史理解の促進と、史跡の周知活用が課題である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	継続して史跡の適切な保存に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1生涯学習 【郷土資料の保存と継承】				
事業名	市史編さん事業	事業費	3,841 千円	生涯学習課
根拠法令等				
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	下田市の歴史を調査し、市史を刊行することを目的とする。			
具体的施策	市史編さん委員 44 千円 臨時雇賃金（一般事務） 1,075 千円 古文書調査 2,328 千円			
検証	昭和 53 年から事業を開始し、考古・古代・中世・近世・幕末開港の各分野における資料編を刊行し、平成 25 年度は資料編近・現代の刊行に向け、資料収集、解読を行うとともに通史編の刊行に向け、考古、古代分野の資料調査と原稿執筆を実施した。			
今後の課題及び今後の対応	早期の通史編刊行が課題である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	早期の通史編の刊行に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 2文化・芸術 【文化施設の整備】 【文化・芸術活動の活性化】				
事業名	市民文化会館管理運営事業	事業費	66,840 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市民文化会館条例、下田市民文化会館条例施行規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	市民文化会館の管理運営			
具体的施策	<p>修繕料 299 千円 市民文化会館指定管理料 66,485 千円</p> <p>指定管理者により多彩な文化事業が実施されており、平成 25 年度は、松本パ ッハ祝祭アンサンブル演奏会他 15 事業を開催し、延べ 5,231 人の入場者があ った。</p> <p>平成 25 年度の年間利用者数は 105,808 人である。</p>			
検証	<p>平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、平成 25 年度より 5 か年の期間で 公益財団法人下田市振興公社を指定管理者に指定している。</p> <p>修繕は、駐車場に段差解消のためのスロープ及び補助手すりを設置した。</p>			
今後の課題及び 今後の対応	<p>建築から 25 年以上が経過し、設備全般にわたり老朽化が顕著になってきてお り、計画的な改修の実施が課題である。</p> <p>指定管理料を上げないため収益性ある自主事業運営が課題である。</p>			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	計画的な修繕を実施し、市民が安心して利用で きる安全な施設づくりに努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 2文化・芸術 【文化・芸術活動の活性化】 【文化財などの保存、継承】														
事業名	芸術文化振興事業	事業費	2,763 千円	生涯学習課										
根拠法令等	下田市文化財保護条例、下田市文化財保護審議会条例、下田市吉田松陰寓寄処設置管理条例													
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】										
目的	芸術・文化の振興を図るもの。													
具体的施策	<table border="0"> <tr> <td>文化財保護審議会委員</td> <td>68 千円</td> </tr> <tr> <td>臨時雇賃金（管理人）</td> <td>1,315 千円</td> </tr> <tr> <td>講師等謝礼</td> <td>407 千円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>184 千円</td> </tr> <tr> <td>下田市文化協会補助金</td> <td>250 千円</td> </tr> </table>				文化財保護審議会委員	68 千円	臨時雇賃金（管理人）	1,315 千円	講師等謝礼	407 千円	印刷製本費	184 千円	下田市文化協会補助金	250 千円
文化財保護審議会委員	68 千円													
臨時雇賃金（管理人）	1,315 千円													
講師等謝礼	407 千円													
印刷製本費	184 千円													
下田市文化協会補助金	250 千円													
検証	<p>静岡県指定史跡である吉田松陰寓寄所の入場者数は 2,839 人、入場料収入は 271 千円であった。</p> <p>文化財保護審議会は 3 回開催し、市内の文化財等について協議や審議を行った。（未指定文化財の保護、史跡の管理等）</p> <p>下田市文化協会に芸術祭運営費として 250 千円を補助した。芸術祭については展示部門の出展数 208 点、入場者数 1,681 人、芸能部門の出展数 34 組、入場者数 1,500 人であった。</p>													
今後の課題及び今後の対応	指定文化財等の適切な管理が課題である。													

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	今後も指定文化財等の保護と管理について努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 3 スポーツ 【施設の有効活用】				
事業名	保健体育総務事務	事業費	2,096 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市立学校施設の使用に関する条例、下田市立学校施設の使用に関する条例施行規則、下田市立学校体育施設の開放に関する規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 其他【 】
目的	市民の体育及びレクリエーションの振興を図るため、下田市が設置する小学校及び中学校の施設の開放。			
具体的施策	学校施設（体育館、グラウンド）の開放事業を行った。 光熱水費 817 千円 修繕料 868 千円 夜間照明設備点検業務委託 292 千円			
検証	平成 25 年度の利用状況は、体育館、2,464 件、38,463 人、グラウンド 403 件、7,940 人であった。 修繕として下田中学校夜間照明修繕他 8 件を実施した。 夜間照明設備点検業務委託を市内小中 7 校で実施した。			
今後の課題及び今後の対応	各利用団体が規則に沿った適正な利用が図られるよう努める。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	利用者が安全に利用できるように施設を整備するとともに、規則に沿った適切な利用を図られるよう努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 3 スポーツ 【施設の有効活用】				
事業名	吉佐美運動公園管理運営事業	事業費	973 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市立吉佐美運動公園の設置及び管理に関する条例、下田市立吉佐美運動公園の設置及び管理に関する条例施行規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	吉佐美運動公園の管理運営			
具体的施策	吉佐美運動公園管理業務委託 630 千円			
検証	平成 25 年度の有料施設の利用は、軟式野球、グラウンドゴルフを中心に 213 件、6,783 人であった。			
今後の課題及び今後の対応				

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	今後も多くの市民が利用できるように適切な管理に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 3 スポーツ 【施設の有効活用】				
事業名	下田市民スポーツセンター管理運営事業	事業費	18,140 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市民スポーツセンター条例、下田市民スポーツセンター条例施行規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	市民の健康の増進と体育の向上及びレクリエーションの振興を図るために設置する下田市民スポーツセンターの管理運営			
具体的施策	下田市民スポーツセンター指定管理料 16,762 千円 修繕料 1,313 千円			
検証	平成 25 年度から公益財団法人下田市振興公社を指定管理者に指定している。 平成 25 年度の利用状況は、2,584 件、71,648 人、利用料収入は 3,993 千円であった。			
今後の課題及び今後の対応	指定管理料を上げないための収益性ある自主事業運営が課題である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	多くの市民がスポーツやレクリエーションを楽しめるように適切な管理に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 3 スポーツ 【スポーツの振興】				
事業名	社会体育活動推進事業	事業費	1,910 千円	生涯学習課
根拠法令等	スポーツ基本法、下田市スポーツ推進委員規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 其他【 】
目的	スポーツを通して市民の体力向上、健康増進、仲間づくりを図るもの。			
具体的施策	スポーツ推進委員 208 千円 下田市スポーツ祭委託 189 千円 下田市体育協会補助金 160 千円 静岡県市町対抗駅伝大会補助金 900 千円 下田河津間駅伝競走大会実行委員会補助金 250 千円			
検証	グラウンドゴルフ大会、グラウンドゴルフ教室を開催した。 年 2 回、下田市スポーツ推進委員会を開催した。			
今後の課題及び今後の対応	新たなスポーツの振興のため新スポーツ教室などを開催する。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	今後もスポーツを通して市民の体力向上等に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 1 就学前教育 【施設の再編・整備の推進】																		
事業名	認定こども園建設事業	事業費	877,693 千円	学校教育課														
根拠法令等	就学前の子どもに対する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律																	
実施方法	直接	委託	補助	負担金														
目的	下田市幼稚園・保育所再編整備基本計画に基づき、利用児童数の減少、施設の老朽化、保護者の教育と保育に対するニーズ等に対応し、安全な施設で充実した教育や保育を受けることができる環境づくりを行うもの。																	
具体的施策	<p>下田市幼稚園・保育所再編整備基本計画に基づき、認定こども園の建設に向けた下記の事業を実施した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">認定こども園造成工事（債務負担 平成 25 年度分）</td> <td style="text-align: right;">358,102 千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園造成工事請負契約</td> <td style="text-align: right;">398,102 千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園建設工事（繰越明許、建築）</td> <td style="text-align: right;">342,301 千円</td> </tr> <tr> <td>“（繰越明許、電気設備）</td> <td style="text-align: right;">63,186 千円</td> </tr> <tr> <td>“（繰越明許、給排水衛生設備）</td> <td style="text-align: right;">39,538 千円</td> </tr> <tr> <td>“（繰越明許、空調設備）</td> <td style="text-align: right;">34,650 千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園建設工事監理業務（繰越）</td> <td style="text-align: right;">2,699 千円</td> </tr> </table>				認定こども園造成工事（債務負担 平成 25 年度分）	358,102 千円	認定こども園造成工事請負契約	398,102 千円	認定こども園建設工事（繰越明許、建築）	342,301 千円	“（繰越明許、電気設備）	63,186 千円	“（繰越明許、給排水衛生設備）	39,538 千円	“（繰越明許、空調設備）	34,650 千円	認定こども園建設工事監理業務（繰越）	2,699 千円
認定こども園造成工事（債務負担 平成 25 年度分）	358,102 千円																	
認定こども園造成工事請負契約	398,102 千円																	
認定こども園建設工事（繰越明許、建築）	342,301 千円																	
“（繰越明許、電気設備）	63,186 千円																	
“（繰越明許、給排水衛生設備）	39,538 千円																	
“（繰越明許、空調設備）	34,650 千円																	
認定こども園建設工事監理業務（繰越）	2,699 千円																	
検証	<p>こうした認定こども園の建設工事と並行して、廃止園（認可保育所 2 園、地域保育所 2 園）の整理、新体制への移行作業、新園の開園準備等を実施した。これらの事業により、平成 22 年度から進めてきた幼稚園・保育所の再編整備計画が完了し、平成 26 年から下田幼稚園、下田保育所、認定こども園の 3 園体制に移行することとなった。</p>																	
今後の課題及び今後の対応	<p>保育所・幼稚園が一体となった施設となるため、管理運営方法の検討及び通園範囲が広域的になるため、通園バスの運行計画、災害時の安全確保の検討が必要となる。</p>																	

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	長年の課題であった再編整備が実現できた。平成 26 年 4 月開園に向け、無事工事が完成し良好な管理運営が必要である。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 1 就学前教育 【就学前教育の充実】																																																
事業名	公立保育所管理運営事業	事業費	166,868 千円	学校教育課																																												
根拠法令等	児童福祉法、下田市立保育所条例、下田市保育の実施に関する条例、下田市保育の実施に関する条例施行規則																																															
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】																																												
目的	公立保育所 3 園の管理運営。																																															
具体的施策	平成 25 年度入所児童数																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保育所</th> <th>定員</th> <th>0 歳</th> <th>1 歳</th> <th>2 歳</th> <th>3 歳</th> <th>4 歳</th> <th>5 歳</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下田</td> <td>150</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>白浜</td> <td>60</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>14</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>須崎</td> <td>50</td> <td></td> <td>1</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>260</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>26</td> <td>30</td> <td>39</td> <td>50</td> <td>161</td> </tr> </tbody> </table>	保育所	定員	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計	下田	150	3	10	17	22	30	31	113	白浜	60		2	4	5	6	14	31	須崎	50		1	5	3	3	5	17	合計	260	3	13	26	30	39	50	161	職員人件費（保育士、調理員） 112,365 千円 臨時雇賃金（保育士、調理員、支援員） 38,505 千円 管理用備品（避難車兼お散歩車他） 207 千円 公立保育所運営費負担金（保育料）収入未済額 1,637,400 円 （19 人 116 件分） 園長・保育士からの督促状の手渡し、電話催告、訪問催告等を実施した。	
保育所	定員	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計																																								
下田	150	3	10	17	22	30	31	113																																								
白浜	60		2	4	5	6	14	31																																								
須崎	50		1	5	3	3	5	17																																								
合計	260	3	13	26	30	39	50	161																																								
検証	幼稚園と保育所の連携を図るため、保育所保育士と幼稚園教諭各 1 名の交流派遣を実施した。 下田保育所において緊急・リフレッシュ保育事業を実施した。（70 人利用） 認定こども園と通園バスについての説明会を開催した。 施設や設備の老朽化が進行する中で、入所児童の保育環境を維持するために施設等の管理に努めた。 津波被害が想定される下田保育所に避難車を整備した。																																															
今後の課題及び今後の対応	幼保再編整備後の幼稚園及び保育所の連携とともに、認定こども園を含めた新体制への円滑な移行が必要となる。 災害に備えた安全対策の推進が求められる。																																															

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	児童保育の拠点である保育所の各施設の適切な運営を図ることができた。 滞納保育料の解消を目指し、保育料負担の公平性確保が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 1 就学前教育 【就学前教育の充実】										
事業名	民間保育所事業	事業費	180,721 千円	学校教育課						
根拠法令等	児童福祉法、下田市社会福祉施設補助金交付要綱									
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】					
目的	民間保育所 2 園に対する補助。									
具体的施策	平成 25 年度入所児童数									
		保育所	定員	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
		稲生沢	120	2	14	17	29	37	37	136
		ひかり	60	3	13	19	16	19	0	70
		合計	180	5	27	36	45	56	37	206
		民間保育所給食費補助金		805 千円						
	多様な保育推進事業補助金		14,026 千円							
	民間保育所フリー保育士設置補助金		2,100 千円							
	保育所運営費		158,327 千円							
	民間保育所運営費負担金（保育料）収入未済額 2,819,350 円 （33 人 192 件分）									
	園長・保育士からの督促状の手渡し、電話催告、訪問催告等を実施した。									
検証	運営費の支出とともに乳幼児保育、障害児保育、給食費及びフリー保育士配置に対する補助金の交付を行い、適正な運営体制の確保に努めた。									
今後の課題及び今後の対応	幼保再編に併せて定員の調整を行うとともに、適正な運営体制の確保に向けた支援、指導を行っていく。									

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	運営費及び各種補助金を交付することにより、児童保育の拠点である保育所の適切な運営を図ることができた。 滞納保育料の解消を目指し、保育料負担の公平性確保が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 1 就学前教育 【就学前教育の充実】									
事業名	地域保育所事業			事業費	63,523 千円			学校教育課	
根拠法令等	児童福祉法、下田市立保育所条例、下田市保育の実施に関する条例、下田市保育の実施に関する条例施行規則								
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】				
目的	地域保育所 2 園の管理運営。								
具体的施策	平成 25 年度入所児童数								
	保育所	定員	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
	大賀茂	50			10	13	8	8	39
	柿崎	50			6	11	9	5	31
	合計	100			16	24	17	13	70
	職員人件費（保育士、調理員）				44,922 千円				
	臨時雇賃金（保育士、調理員、支援員）				14,723 千円				
	借地料				598 千円				
検証	施設や整備の老朽化が進行する中で、入所児童の保育環境を維持するために施設等の管理に努めた。 認定こども園と通園バスについての説明会を開催した。								
今後の課題及び今後の対応	幼保再編整備を見据えた幼稚園及び保育所の連携を図るとともに、認定こども園を含めた新体制への円滑な移行が必要となる。								

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	児童保育の拠点である保育所の各施設の適切な運営を図ることができた。 今後は廃園撤去作業が必要である。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 1 就学前教育 【就学前教育の充実】						
事業名	幼稚園管理事業	事業費	96,331 千円	学校教育課		
根拠法令等	学校教育法、下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例、下田市立幼稚園管理規則					
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】	
目的	公立幼稚園 4 園の管理運営。					
具体的施策	平成 25 年度児童数					
	幼稚園	3 歳	4 歳	5 歳	合計	学級数
	下田	17	23	27	67	3 学級
	吉佐美	10	8	6	24	2 学級
	白浜	8	3	4	15	2 学級
	稲梓	6	7	9	22	2 学級
	合計	41	41	46	128	9 学級
	職員人件費（教諭）		82,536 千円			
	臨時雇賃金（教諭、支援員）		8,854 千円			
	借地料		1,551 千円			
	管理用備品		116 千円			
検証	幼稚園と保育所の連携を図るため、保育所保育士と幼稚園教諭各 1 名の交流派遣を実施した。 認定こども園と通園バスについての説明会を開催した。					
今後の課題及び今後の対応	幼保再編整備を見据えた幼稚園及び保育所の連携を図るとともに、認定こども園を含めた新体制への円滑な移行が必要となる。 災害に備えた安全対策の推進が求められる					

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	保護者や地域の方々と連携し、適切な運営を図ることができた。 廃園した幼稚園の作業が必要である。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【教育施設の整備】									
事業名	小学校管理事業			事業費	77,990 千円			学校教育課	
根拠法令等	学校教育法、下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例								
実施方法	直接 委託 補助 負担金 その他【 】								
目的	公立小学校 7 校の管理運営。								
具体的施策	平成 25 年度児童数								
	小学校	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	学級数
	稲梓	11	20	14	19	21	18	103	6 学級
	稲生沢 (支援)	21 (1)	29 (1)	36	37	45	40	208 (2)	8 学級
	白浜	13	12	17	12	14	16	84	6 学級
	浜崎	18	19	21	18	16	26	118	6 学級
	下田 (支援)	44	37	35	43 (2)	42 (2)	52	253 (4)	11 学級
	大賀茂	12	16	8	12	7	13	68	6 学級
	朝日	21	29	25	14	20	27	136	6 学級
	合計	140 (1)	162 (1)	156	155 (2)	165 (2)	192	970 (6)	49 学級
職員人件費（用務員）11,845 千円、 臨時雇賃金（用務員）8,636 千円 消耗品 9,336 千円、修繕料 7,633 千円、管理用備品 2,339 千円									
検証	消耗品、管理用備品等は児童数、要望等を考慮し、各学校に予算を配分し執行した。 修繕は、白浜小学校ベランダ爆裂修繕 7,633 千円等 95 件を施工した。								
今後の課題及び今後の対応	安全で安心した学校生活を送り、学力向上を目指すことができる環境整備を図るとともに、施設の点検を継続的に実施し、緊急性の高い事業から順次整備を図っていく必要がある。 災害に備えた安全対策の推進が求められる。								

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	施設の老朽化が進む中、限られた予算で適切な維持管理を行った。 児童の安全を確保した施設管理が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【教育施設の整備】				
事業名	小学校教育振興事業	事業費	35,727 千円	学校教育課
根拠法令等	学校教育法、下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	公立小学校 7 校の教育振興事業。			
具体的施策	教育用パソコン購入	21,504 千円		
	パソコンネットワーク保守委託（債務）	3,125 千円		
	図書	1,428 千円		
	教材備品	1,884 千円		
	理科備品	1,991 千円		
検証	<p>教育振興基金を活用し、市内 7 小学校に教育用パソコン 194 台を 19,740,000 円で、また教育パソコン用備品を 1,764,000 円で購入した。各小学校において、電子黒板を活用するためのソフトについても 1,354,500 円で購入した。</p> <p>教材備品、図書については、児童数、要望等を考慮し、各学校に予算を配分し執行した。</p>			
今後の課題及び今後の対応	<p>電子黒板のソフトは毎年度購入することとする。</p> <p>I C T 関連機器整備には教育振興基金を充当しており、教育用パソコン更新についても今後は一般財源での整備を要求する。</p>			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	教育用パソコン購入など、児童への教育の充実が図られた。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【教育施設の整備】						
事業名	中学校管理事業	事業費	44,274 千円	学校教育課		
根拠法令等	学校教育法、下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例					
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】	
目的	公立中学校 4 校の管理運営。					
具体的施策	平成 25 年度生徒数					
	中学校	1 年	2 年	3 年	合計	学級数
	稲梓	14	15	18	47	3 学級
	稲生沢 (支援)	45	47 (1)	35	127 (1)	6 学級
	下田東	52	40	36	128	4 学級
	下田 (支援)	91 (4)	90 (1)	102 (1)	283 (6)	10 学級
	合計	202 (4)	192 (2)	191 (1)	585 (7)	23 学級
職員人件費（用務員）5,092 千円、 臨時雇賃金（用務員）5,151 千円 消耗品 5,329 千円、修繕料 3,190 千円、管理用備品 2,192 千円						
検証	消耗品、管理用備品等は児童数、要望等を考慮し、各学校に予算を配分し執行した。 修繕は、下田中学校グラウンド整備 468 千円等 57 件を施工した。					
今後の課題及び今後の対応	安全で安心した学校生活を送り、学力向上を目指すことができる環境整備を図るとともに、施設の点検を継続的に実施し、緊急性の高い事業から順次整備を図っていく必要がある。 災害に備えた安全対策の推進が求められる。 教育水準の向上と学校経費の合理化のため、小規模校を適正な規模にまでの統合が必要となる。					

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	施設の老朽化が進む中、限られた予算で適切な維持管理を行った。 生徒の安全を確保した施設管理が望まれる。
<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【教育施設の整備】				
事業名	中学校教育振興事業	事業費	13,205 千円	学校教育課
根拠法令等	学校教育法、下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例			
実施方法	直接	委託	補助	負担金
目的	公立中学校 4 校の教育振興事業。			
具体的施策	パソコンネットワーク保守委託（債務）	4,140 千円		
	図書	834 千円		
	教材備品	4,556 千円		
	理科備品	1,981 千円		
検証	教材備品、図書については、生徒数、要望等を考慮し、各学校に予算を配分し執行した。			
今後の課題及び今後の対応	平成 26 年度には電子黒板の購入が予定されている。 I C T 関連機器整備には教育振興基金を充当しており、平成 25 年度の教育用パソコン更新についても基金充当であるが、今後は一般財源での整備を要求する。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	小学校の I C T 環境の整備が実施されており、中学校においても同様の環境整備が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【教育施設の整備】												
事業名	給食センター建設事業	事業費	4,528 千円	学校教育課								
根拠法令等	学校給食法、下田市学校給食共同調理場設置条例											
実施方法	直接 委託 補助 負担金 その他【 】											
目的	老朽化した学校給食調理場を統合し、新たな施設を整備し、安心して安全な給食の提供を行うもの											
具体的施策	<p>下田市立給食センター建設に向け、平成 25 年度は、平成 26 年度までの 2 箇年の債務負担行為による建設工事設計業務の内の基本設計業務と、建設用地の地形測量業務及び地質調査業務を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>建設工事設計業務（債務負担 平成 25 年度分）</td> <td>1,209 千円</td> </tr> <tr> <td>建設工事設計業務請負契約</td> <td>4,620 千円</td> </tr> <tr> <td>建設地形測量業務</td> <td>1,260 千円</td> </tr> <tr> <td>地質調査業務</td> <td>1,999 千円</td> </tr> </table>				建設工事設計業務（債務負担 平成 25 年度分）	1,209 千円	建設工事設計業務請負契約	4,620 千円	建設地形測量業務	1,260 千円	地質調査業務	1,999 千円
建設工事設計業務（債務負担 平成 25 年度分）	1,209 千円											
建設工事設計業務請負契約	4,620 千円											
建設地形測量業務	1,260 千円											
地質調査業務	1,999 千円											
検証	当初計画では、平成 26 年度の開設を予定していたが、平成 28 年度開設予定となった。											
今後の課題及び今後の対応	<p>平成 25～26 年度 基本設計、実施設計 平成 26 年度 旧浜崎幼稚園解体工事 平成 27 年度 給食センター建設工事 平成 28 年度 給食センター開設 民間委託を含め、給食の実施形態について検討を要する。</p>											

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	当初計画からの遅れはあるが、平成 28 年の開設へ向けハード・ソフト両面からの具体的な計画策定が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【総合的な学習の推進】				
事業名	教育委員会事務局総務事務	事業費	85,649 千円	学校教育課
根拠法令等				
実施方法	直接	委託	補助	負担金
目的	教育委員会事務局の運営			
具体的施策	教科指導員謝礼		95 千円	
	幼児ことばの教室指導員謝礼		178 千円	
	外国語指導助手謝礼		2,622 千円	
	小中学校児童生徒対外派遣費補助金		2,558 千円	
検証	総合的な学習の推進のため、教科指導員として、水泳、稲作、琴、書道等の講師をお願いし、体験を通じた学習を実施した。 中学校英語の授業に外国人 A L T、小学校の外国語活動に地域人材を派遣し、充実を図った。 対外派遣費補助金を交付し、中学校部活動の支援を行った。			
今後の課題及び今後の対応	今後も教育効果を上げるため、体験教育のための教科指導員、A L T の効果的な活用、部活動の支援等を実施して行く。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	外国語教育の重要性はますます高くなっており、更なる充実が望まれる。
<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【いじめ、不登校対策と特別支援教育の充実】				
事業名	児童・生徒適応指導事業	事業費	1,975 千円	学校教育課
根拠法令等	下田市児童・生徒適応教室設置要綱			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	心理的又は情緒的な原因により、学校へ登校しない、登校できない状態にある児童及び生徒に対する相談指導を行うことにより、学校復帰への支援を行う。			
具体的施策	臨時雇賃金（適応教室指導相談員） 1,881 千円 会場使用料 10 千円			
検証	賀茂教育会館内に相談員 2 名による「あじさい教室」を設置し、併せて学校訪問指導を実施した。 2 名の相談員は、児童生徒の状況に併せ、適切な支援・指導の充実に努めている。 平成 25 年度通級状況 3 名			
今後の課題及び今後の対応	今後も適応指導教室を設置し、不登校児童・生徒に対し在籍校等との連携を図り積極的に支援を行っていく。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	関係機関と連携し、適応指導教室への通級を促進し、学校への復帰を支援した。
<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【いじめ、不登校対策と特別支援教育の充実】				
事業名	特別支援教育体制推進事業	事業費	17,947 千円	学校教育課
根拠法令等	学校教育法			
実施方法	直接	委託	補助	負担金
				その他【 】
目的	障害のある児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。			
具体的施策	臨時雇賃金（特別支援教育支援員） 11,750 千円 臨時雇賃金（重点分野雇用創出分） 5,789 千円 謝礼 300 千円			
検証	市単費による支援員 11 名、緊急雇用創出事業による 4 名の支援員を配置し、特別支援教育の充実を図った。 また、スクールカウンセラーとして臨床心理士を各学校に派遣し、教育相談を実施した。			
今後の課題及び今後の対応	障害を有する児童・生徒は今後も増加するものと考えられるため、各学校の要望に応じ、支援員を配置して行く。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	支援員、スクールカウンセラーの配置により、特別支援教育の充実が図られている。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

安心なまちづくり (1)人にやさしいまちづくり 2 子育て支援 【子育て支援ネットワークの充実】				
事業名	子育て支援ネットワーク事業	事業費	40 千円	学校教育課
根拠法令等				
実施方法	直接	委託	補助	負担金
目的	子育て支援環境の充実のため、子育てに携わる官民の関係者が一体となったネットワーク型の事業を推進するもの			
具体的施策	講師謝礼 40 千円			
検証	平成 25 年度は、民間団体や関係機関の協力を得て「下田子育て支援ネットワーク」を組織し、子育て支援ガイドブックの作成や子育て支援者向けの研修会を開催した。			
今後の課題及び今後の対応	子育て支援活動促進のため、広域的な交流、情報発信や複数の団体との連携が必要となる。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	事業の連携や情報の共有化を図るとともに、学習の機会の充実により、地域ぐるみでの子育て支援環境づくりが望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

安心なまちづくり (1)人にやさしいまちづくり 2 子育て支援 【子育て支援ネットワークの充実】				
事業名	ファミリーサポートセンター事業	事業費	339 千円	学校教育課
根拠法令等	子ども子育て支援法、下田市ファミリーサポートセンター会則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	地域において育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者を組織化し、会員同士が相互援助活動を行うことにより、地域の子育て支援を行い、保護者及び児童の福祉の向上をはかるもの。			
具体的施策	平成 24 年 4 月から下田市ファミリーサポートセンターを開設した。 賠償責任保険料 70 千円 まかせて会員養成講座委託料 200 千円			
検証	平成 25 年度の実績として、まかせて会員 51 人、おねがい会員 33 人の登録があり、年間 36 件の利用があった。			
今後の課題及び今後の対応	今後も会員養成講座を開催し、まかせて会員を養成することにより、子育てにかかる負担を軽減し、安心して育児ができる地域づくりを目指す。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	今年度以上に市民への周知を図り、事業の更なる充実により地域ぐるみでの子育て支援環境づくりが望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

安心なまちづくり (1)人にやさしいまちづくり 2 子育て支援 【子育て支援ネットワークの充実】				
事業名	子ども・子育て支援事業	事業費	2,676 千円	学校教育課
根拠法令等	子ども子育て支援法			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	平成 24 年 8 月に成立し、平成 27 年 4 月の施行が予定されている子ども・子育て関連三法への移行準備として、子ども・子育て支援事業計画の策定に向けたニーズ調査を実施するもの。			
具体的施策	子ども・子育て支援事業計画策定業務 （債務負担 平成 25 年度分） 2,594 千円 委託請負契約 5,163,900 円			
検証	住民基本台帳に登録されている就学前児童の保護者、及び小学生の保護者全てにニーズ量算定のためにアンケート調査を行いました。			
今後の課題及び今後の対応	今後は、調査結果に基づき平成 26 年度末に「子ども・子育て支援事業計画」を策定します。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	子ども・子育て支援計画のために、ニーズ調査結果を有効に反映することが望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 26 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 25 年度事業）

安心なまちづくり (1)人にやさしいまちづくり 2 子育て支援 【子育て支援ネットワークの充実】				
事業名	放課後児童対策事業	事業費	7,982 千円	学校教育課
根拠法令等	下田市放課後児童対策事業実施要綱			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 其他【 】
目的	放課後等において、家庭等で面倒をみることができない小学校低学年児童に対し、保護者に代わって遊びを主として保護する施設を設け、その健全な育成を図るもの			
具体的施策	臨時雇賃金（保育士）	6,815 千円	臨時雇賃金（重点分野雇用創出分）	952 千円
検証	平成 14 年度から下田小学校放課後児童クラブを開設し、平成 25 年度は月平均 29 人の利用があった。また、平成 20 年度からは、稲生沢小学校放課後児童クラブを開設し、平成 25 年度は月平均 7 人の利用があった。春・夏・冬の長期休暇期間には両クラブで延べ 200 人の利用があった。 国の「放課後児童プラン」を受けて、児童の成長に資する豊かな交流・体験の場づくりとして、「放課後子ども教室」を稲生沢小学校において実施し、放課後児童対策の充実に努めた。			
今後の課題及び今後の対応	各地区からの放課後児童クラブ設置の要望があり検討はするが、当面 2 クラブの運営とする。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	核家族化や保護者の就労形態により、放課後に保護者不在の子どもが増加している中、適切な遊びや生活の場を提供している。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

6. 有識者委員会

下田市教育委員会の自己点検・評価に対する学識経験者等による知見の活用は、下田市教育委員会の点検評価に関する有識者委員会の4人の委員の方をお願いをしました。

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	渡 邊 紘	教育関係者(元下田北高等学校長)
副委員長	田 中 豊	下田商工会議所会頭
委 員	進 士 司	下田市社会教育委員長
委 員	佐々木 文夫	教育関係者(前賀茂地区校長会長)

7. 有識者委員会の意見

平成25年度事業の点検評価は、下田市第4次総合計画に位置付けられた主要施策のうち、教育委員会の内部評価を経た33事業について実施しました。

教育委員会の内部評価では、32事業中21事業を「十分成果が上がって良好に行われている」、12事業を「成果が上がって概ね良好に行われている」と評価し「成果が十分に上がっておらず改善が必要」と評価された事業はありませんでした。

点検評価に際しては、下田市教育委員会から提出の自己点検・評価シート、主要な施策の成果等の資料を基に担当課長の説明及び教育委員からの補充説明を聴取し、質疑応答を行いました。

有識者委員会としては、各事業の点検・評価シートにおいて、各事業について高く評価する点や今後の改善が期待される点などを指摘しましたが、全体的には概ね良好な実施状況と判断しました。

しかしながら、点検評価に関する有識者委員会の開催については、PDCAサイクルの理念に基づき、次年度以降の事業に対しての反映、事務改善に努める時期的な検討が必要なため、早期の開催が望まれます。

【1. 教育委員会の活動】

下田市における教育行政を統括し、推進する役割を担う教育委員会議は、教育委員の積極的な審議と事務局との連携により良好に運営されています。

教育委員会会議、教育委員研修の他にも小中学校の訪問は、全ての所管する学校を訪問し、児童生徒の様子や学校施設等の状況確認、校長の学校経営方針、課題等についての説明や懇談を実施し、各調理場の見学や給食の会食を行っています。

一方、その他の所管する施設、幼稚園、保育所の訪問は不十分でした。

稲梓小学校・中学校PTA役員と教育委員会委員、事務局との児童生徒の学習環境、生活環境についての意見交換会を開催し、主な意見としては、「大人数の中の自分を理解するのが難しい」「きめ細かな手厚い指導を受けているがためか競争心が芽生えない」「小規模の学習には限界がある」「小・中同じ人間関係の中でのデメリットが大きい」「部活動の選択肢が少なく、かわいそう」などの意見がでていま

す。

また、「稲穂の教育と文化をすすめる会」の役員方々との意見交換会では、先の統合推進時における進め方に対する御指摘もいただきましたが、全体的には統合反対の意見は出されず、統合もやむを得ないのではないかという意見等がでていました。

今後子どもの学習環境に関する意見交換会における検証が必要と考えます。

【2．自ら学ぶ人づくり】

公民館管理運営事業については、「第5次行財政改革重点事業」に基づき市の総合計画における基本方針では、耐震性のある建物については地元区へ譲渡、その他については解体する計画が進められており、集会場建設に係る補助金制度を利用して新しい集会所を建設した地域もあります。公民館を順次廃止していくとなると、地域のコミュニティとなる場所が減少することが懸念され、難しいとは思いますが学校の空き教室を利用するなど、地域住民のコミュニティの場の提供や公民館講座を推進する上では重要であり、今後も引き続き、公民館施設の適切な配置について検討が必要と思われます。

公民館活動推進事業については、写真の祖であります下岡蓮杖プロジェクトの写真講座も商工会議所で行っていますので、連携して進めていただくよう要望いたします。

図書館管理運営事業については、現在庁舎との併設が検討されておりますが、静岡県下田総合庁舎の移転に伴う検討も必要と考えます。

また、道の駅「開国下田みなと」には篤志家から寄贈された伊豆文庫が保管されています。その利用についても当面する課題と考えます。

市民文化会館管理運営事業については、指定管理者により多様な文化事業、自主事業を実施し年間10万人以上の人に利用されています。800人というキャパシティでは集客力のあるア・ティストを呼ぶには採算面で難しい面もありますが、今後、賀茂1市5町などで使えるような施策に期待します。

吉佐美運動公園管理運営事業については、地元で草刈りやグラウンド整備を行っています。猪の被害対策をしっかりと行うためにも、ネットの補修等を要望します。

【3．未来の人づくり】

認定こども園建設事業については、工事が完成し、平成26年度から開園となり、幼稚園・保育園が一体となった運営となったことから、職員の研修、職員配置等の運営体制の整備を図るよう要望します。

また、かつて幼稚園や保育所があった地区からは子どもの姿が見えなくなったという声もあり、各区からの要望にあるとおり、それぞれの地区の行事に園の子どもたちを積極的に参加させていくように園側にもお願いします。

民間保育事業について、運営費及び各種補助金を交付することにより適切な運営を図ることが出来ていますが、保育料の収入未済額が公立に比べて多くなっているため、保育料滞納金の解消を目指し、保育料負担の公平性確保を望みます。

学校教育振興事業において、各学校に整備されている電子黒板は、操作性も良いため、活用頻度も高く好評であると高く評価できます。追加要求もあると聞きますので学校規模に合わせた整備が望まれます。

す。

特別支援教育体制推進事業について、教育上特別なサポートを要する児童・生徒に対する適切な指導や支援を行っている点、スクールカウンセラーとして臨床心理士を各学校に派遣していることは高く評価するところです。さらに就学において様々な問題を抱える児童・生徒は今後も考えられるため、各学校の要望に応じ配置していくよう期待します。

また、平成26年度全国学力・学習状況調査において、平成25年度最下位であった静岡県の小学校6年生国語Aが全国平均を上回ったことについても、話題となりました。

過去問題を解くなどの演習を取り入れた結果、今年度は点数の上昇がみられました。ただし、市内の学校は母数となる生徒数が少ないため、平均点を公表する際には配慮が必要です。小規模校の結果を公表することにどれほどの意味があるかということを含め、慎重に検討してください。どの子にも「確かな学力」を育むために、今までの授業づくりを大切にしながら、全国学力・学習調査状況の調査の結果を活用し、更なる授業改善に努めるよう望みます。

【4．人にやさしいまちづくり】

平成26年度には、「子ども・子育て支援事業計画」が策定され、平成27年度からは「子ども・子育て支援新制度」が始まります。今後も市民への制度の周知を図り、子育て支援環境の充実を期待します。

【5．最後に】

行政上の課題は市町の規模にかかわらず、多岐にわたっております。本市教育委員会の達成度は一様ではありませんが、それなりに対応し向上すべく努めております。しかしながら、教育に対する市民の意識は、今後ますます高まっていくことが予想されます。

教育委員会制度が変わり、新「教育長」が教育行政に大きな権限と責任を有することを踏まえ、教育委員会の委員による教育長のチェック機能を強化するとともに、市民に対して開かれた教育行政を推進していかなければなりません。

教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、下田市教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携の強化を図り、実際の現場の様子や市民の声を通じ、事務事業の必要性や効率性、効果等を検証し更に工夫、改善を行い一層の充実を目指すことが肝要と考えます。

下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱

平成21年7月27日教育委員会告示第9号

(設置)

第1条 下田市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する、事務・事業の管理及び執行の状況についての点検・評価を行うことで、地域の実情と住民ニーズに応じ、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、事務・事業の管理及び執行状況についての透明性の確保と市民への説明責任を果たすため、下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施する事務・事業の点検評価に関すること。
- (2) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関する識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 3 委員会の会議は、原則として公開とする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、公示の日から施行する。
- 2 第3条第3項本文の規定にかかわらず、初回の委員の任期は、平成23年3月31日までとする。

平成 26 年度（平成 25 年度事業）下田市教育委員会自己点検・評価
報告書

下田市教育委員会 学校教育課

〒415-0024 静岡県下田市四丁目 6 番 16 号

電話 0558-23-3929 F A X 0558-23-5176

E-mail:kyouiku@city.shimoda.shizuoka.jp